

2024年3月期第二四半期

決算説明会資料

株式会社ベルーナ

証券コード：9997

ベルーナ

2023年11月17日（金）

1.決算ハイライト	P.2
2.経営方針と取り組み	P.12
3.参考資料	P.33

1. 決算ハイライト

1. 決算総括
2. 決算概況
3. セグメント別損益
4. 売上の増減分析
5. 営業利益の増減分析
6. 貸借対照表
7. キャッシュフロー計算書
8. 今期予算について

売上高・営業利益・経常利益は前年を下回ったが、当期純利益は前年を上回って着地。

- 売上高は前年比2.7%減、予算比3.1%減
- 営業利益は前年比16.1%減、予算比24.5%減
- 経常利益は前年比7.4%減、予算比1.7%減
- 当期純利益は前年比14.5%増、予算比2.0%増

23/10/30に通期予算の修正を公表。

1-2. 決算概況（2Q累計）

売上高 ～961.1億円、前年比-2.7%となった。

営業利益～31.0億円、前年比-5.9億円となった。

経常利益は為替差益が前年より拡大し43.3億円、前年比▲3.5億円

当期純利益は32.6億円、前年比+4.1億円となった。

単位：億円

連結	23/3期 2Q累計	24/3期 2Q累計	24/3期 2Q累計			24/3期通期
	実績	予算	実績	前年比	予算比	10/30修正予算
売上高	987.8	992.0	961.1	-2.7%	-3.1%	2,085.0
売上原価	395.8	-	371.7	-6.1%	-	-
販売管理費	555.1	-	558.4	+0.6%	-	-
営業利益	36.9	41.0	31.0	-16.1%	-24.5%	100.0
営業外損益	9.8	3.0	12.3	+25.2%	+309.9%	10.0
（内、為替関連損益）	(8.3)	-	(10.0)	-	-	-
経常利益	46.7	44.0	43.3	-7.4%	-1.7%	110.0
当期純利益	28.5	32.0	32.6	+14.5%	+2.0%	70.0

1-3. セグメント別損益

売上高 : プロパティ、データベース活用等の3セグメントが増収

営業利益 : プロパティ、ナース関連の2セグメントが増益

アパレル・雑貨、グルメ、データベース活用、化粧品健康食品等の6セグメントで減益

- ・アパレル・雑貨は商品価格見直しによるレスポンス鈍化、新規顧客獲得減少により減収減益
- ・グルメは外食・外飲み回帰傾向の影響により売上の伸びが一服、また原材料、資材高騰による原価率悪化により減収減益
- ・プロパティはホテル事業において既存ホテルの稼働率や客室単価等の改善に加え、国内新規ホテルの稼働により大幅な増収増益

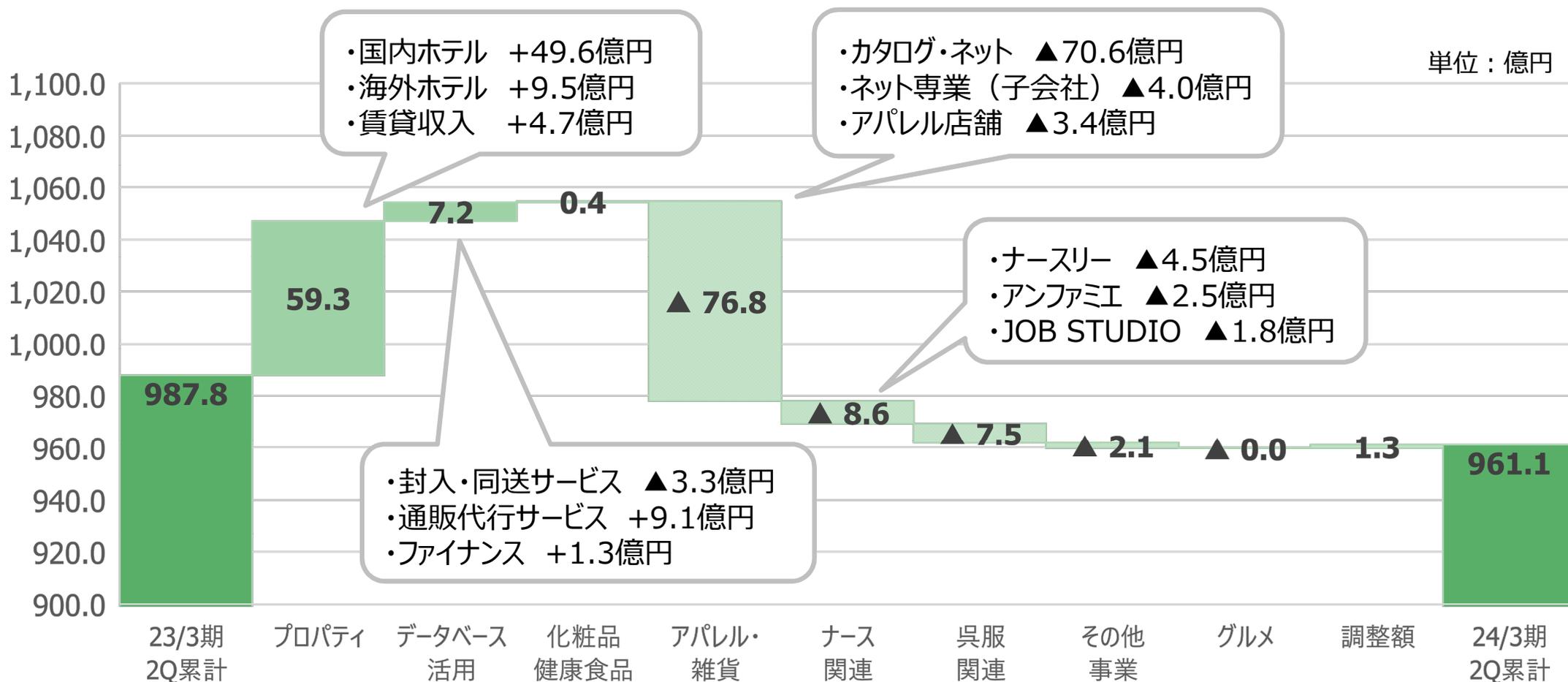
セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

	24/3期 2Q										
	通販事業						呉服関連	プロパティ	その他	連結消去	計
	アパレル・雑貨	化粧品健康食品	グルメ	ナース関連	データベース活用	小計					
売上高	348.2	74.5	127.1	67.3	82.0	699.1	104.0	143.1	18.8	-3.9	961.1
前年比 (%)	-18.1%	+0.5%	-0.0%	-11.3%	+9.7%	-10.0%	-6.7%	+70.8%	-10.0%	-25.6%	-2.7%
予算比 (%)	-4.5%	+1.7%	-4.9%	-3.6%	+3.3%	-3.0%	-3.6%	-0.8%	-12.2%	+61.3%	-3.1%
営業利益	-13.4	4.1	-1.0	3.7	25.5	18.9	-1.9	17.5	-1.4	-2.1	31.0
前年比(億円)	-13.1	-1.9	-3.2	2.0	-2.9	-19.1	-0.6	13.8	-0.7	0.7	-5.9
予算比(億円)	-4.8	1.8	-3.9	0.0	0.3	-6.4	-0.9	-1.5	-0.7	-0.5	-10.0
営業利益率	-3.9%	5.4%	-0.8%	5.6%	31.1%	2.7%	-1.9%	12.2%	-7.6%	53.2%	3.2%

1-4. 売上の増減分析

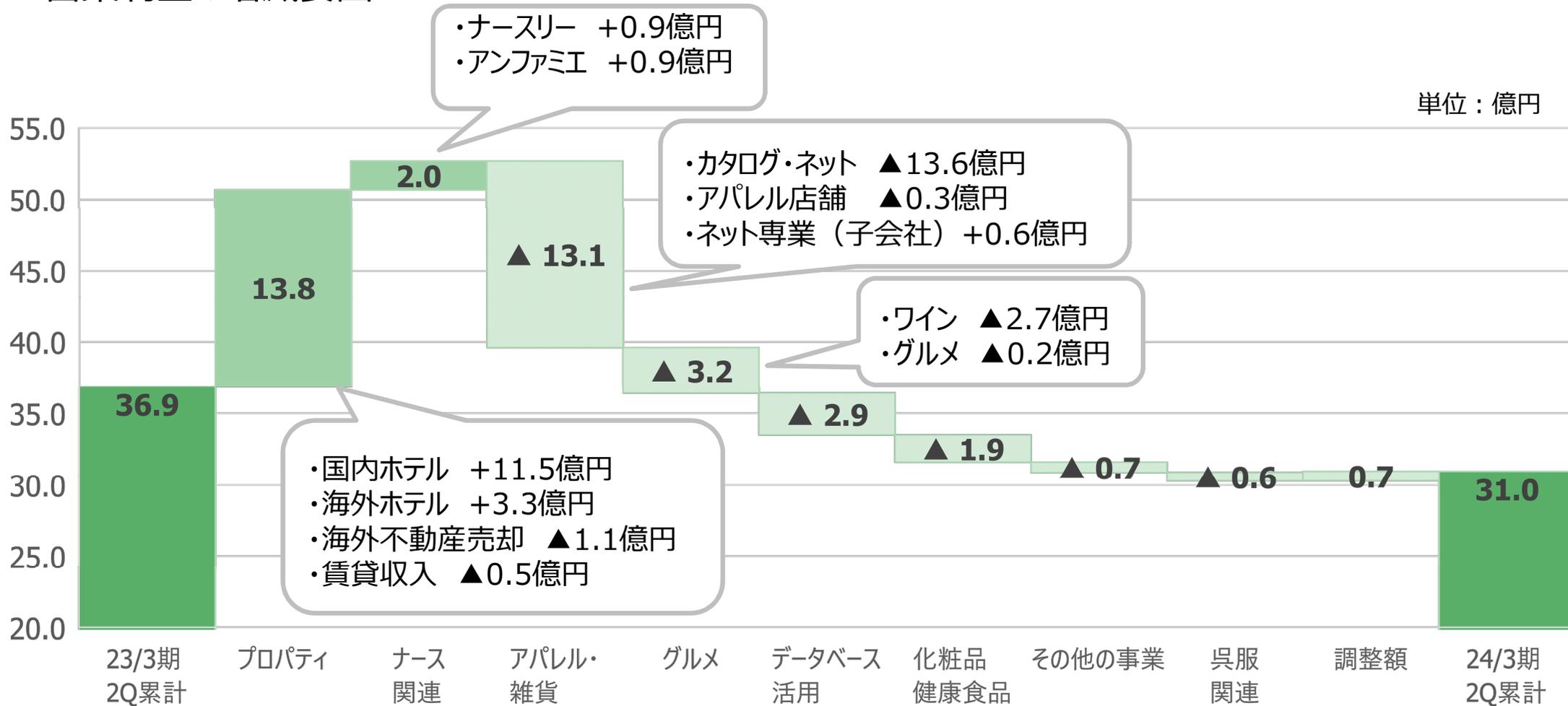
売上高の増減要因



1-5. 営業利益の増減分析

営業利益の増減要因

単位：億円



1-6. 貸借対照表

BELLUNA

流動資産では、主に商品及び製品、営業貸付金が増加。

固定資産では、主に有形固定資産が増加。

これに対し負債では、支払手形、買掛金及び電子記録債務、短期借入金が減少した一方、長期借入金が増加。

単位：億円

	23/3末	23/9末	増減額
流動資産	1,226.6	1,280.6	53.9
商品及び製品	284.0	301.6	17.6
営業貸付金	293.8	306.1	12.4
現金及び預金	321.1	325.8	4.7
固定資産	1,629.3	1,671.9	42.6
有形固定資産	1,295.0	1,333.8	38.8
投資その他の資産	228.6	227.6	-1.0
総資産	2,855.9	2,952.5	96.6
負債	1,591.6	1,622.4	30.8
長期借入金	854.6	974.5	119.9
短期借入金	203.3	128.8	-74.5
未払費用	150.9	121.8	-29.0
リース債務（長期）	2.7	20.2	17.5
支払手形、買掛金及び電子記録債務	191.7	178.3	-13.3
純資産	1,264.4	1,330.1	65.7
【自己資本比率】	[43.9%]	[44.7%]	[+0.7P]

1-7. キャッシュフロー計算書

営業貸付金の増加、棚卸資産の増加等で営業キャッシュフローがプラス
有形固定資産の取得等で投資キャッシュフローがマイナス
長期借入金が増加し、全体としてキャッシュは16.5億円増加した

	23/3期2Q累計		24/3期2Q累計		単位：億円
	実績		実績	前年比	
営業活動によるキャッシュフロー	23.5		17.1	-6.4	
税金等調整前当期純利益	45.7		49.9	4.1	
減価償却費	18.8		24.7	6.0	
法人税及び住民税(支払額)	-20.6		-17.2	3.4	
棚卸資産の増減	-26.1		-16.2	9.9	
営業貸付金の増減	-9.6		-12.3	-2.7	
投資活動によるキャッシュフロー	-45.6		-60.7	-15.1	
有形固定資産取得による支出	-40.5		-64.2	-23.6	設備投資*1
投資有価証券の売却収入	1.8		22.7	20.9	70.6億円
財務活動によるキャッシュフロー	15.4		51.8	36.4	
短期借入金の増減額	-58.5		-98.0	-39.5	減価償却費*2
長期借入金の借入収入	116.0		191.0	75.1	24.7億円
長期借入金の返済支出	-31.5		-51.1	-19.7	
セール・アンド・リースバックによる収入	0.0		20.5	20.5	
キャッシュに係る換算差額	6.0		8.2	2.2	
キャッシュ増減	-0.6		16.5	17.1	

*1: 設備投資額には、ソフトウェアなどの無形固定資産およびリース資産への投資額も含む *2: 減価償却費には、無形固定資産関連の償却も含む

1-8. 今期予算について

23/10/30に通期予算の修正を公表しております。

単位：億円

連結	22/3期	23/3期	24/3期	24/3期		
	実績	実績	当初予算	10/30修正予算	前年比	当初予算比
売上高	2,201.3	2,123.8	2,190.0	2,085.0	-1.8%	-4.8%
営業利益	138.3	112.2	140.0	100.0	-10.9%	-28.6%
経常利益	145.4	124.6	147.0	110.0	-11.7%	-25.2%
当期純利益	102.0	74.2	94.0	70.0	-5.6%	-25.5%
有利子負債	835.5	1,108.3	1,170~1,200	1,170~1,200	+5.5~8.2%	-
純資産	1,190.4	1,264.4	1,360.0	1,320.0	+4.4%	-
ROE	8.8%	6.1%	7.2%	5.4%	-0.7pt	-1.7pt

1-8. 今期予算について（セグメント別）

【アパレル・雑貨】

- ・各種費用の高騰を受け、商品の値上を行ったため既存顧客のレスポンスが鈍化
- ・紙代・印刷代等の販促関連経費の増加を受け、紙媒体発行量を抑制したことで新規顧客の獲得数が減少し、稼働顧客数が減少。

【プロパティ】

- ・円安影響を考慮し、予定していた海外不動産の売却案件を翌期以降に後ろ倒し。

セグメント別の修正予算

単位：億円

	24/3期 修正予算										
	通販事業						呉服 関連	プロパティ	その他	調整	連結
	アパレル・ 雑貨	化粧品 健康食品	グルメ	ナース 関連	データ ベース 活用	小計					
売上高	741.2	158.0	326.0	130.0	164.5	1,519.7	238.8	289.6	41.3	-4.4	2,085.0
当初予算比 (%)	-6.1%	0.0%	-5.9%	-3.3%	0.0%	-4.6%	-2.8%	-7.4%	-6.1%	-15.4%	-4.8%
前年比 (%)	-16.1%	6.8%	0.9%	-7.6%	4.4%	-8.0%	0.1%	44.9%	-0.5%	-49.3%	-1.8%
営業利益	-23.2	8.1	15.1	7.0	53.2	60.2	15.1	29.9	-1.2	-4.0	100.0
当初予算比(億円)	-26.9	+0.0	-3.4	+0.0	+0.0	-30.3	+0.0	-6.2	-1.6	-2.0	-40.0
前年比(億円)	-32.5	+2.2	-2.5	+4.6	-3.8	-32.0	+2.6	+16.2	-0.3	+1.2	-12.2
営業利益率	-3.1%	5.1%	4.6%	5.4%	32.3%	4.0%	6.3%	10.3%	-2.9%	90.9%	4.8%

2. 経営方針と取り組み

BELLUNA

1. 経営方針
2. 注力セグメントの紹介と取り組み
3. 株主還元
4. サステナビリティに関する取り組み

第5次経営計画

(2023年3月期～2025年3月期)

最終年度目標

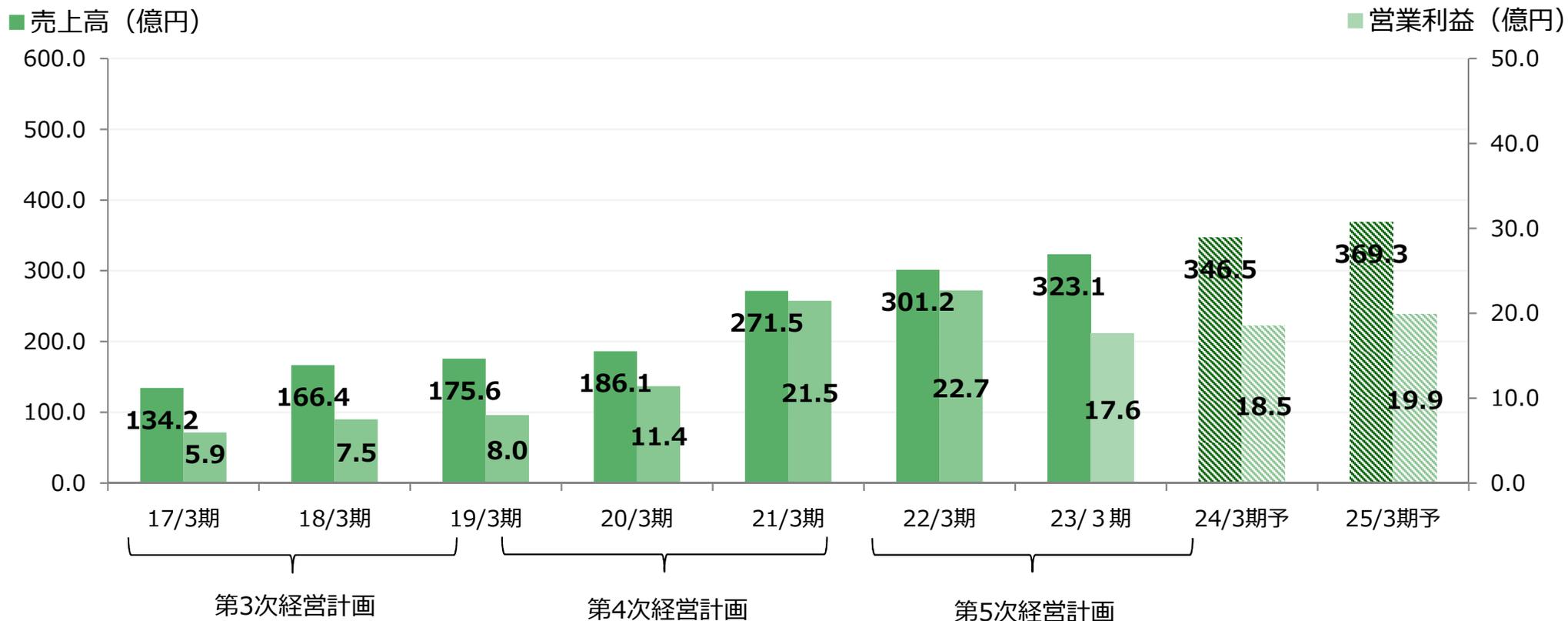
■ 売上高	2,300億円
■ 営業利益	170億円
■ ROE	8%以上

2-2. 注力セグメントの紹介

BELLUNA

① グルメ事業

圧倒的な商品開発力を武器に、継続成長を実現。今後も市場シェア拡大を目指す。



ワイン通販売上15年連続売上No.1

日本酒通販売上7年連続売上No.1

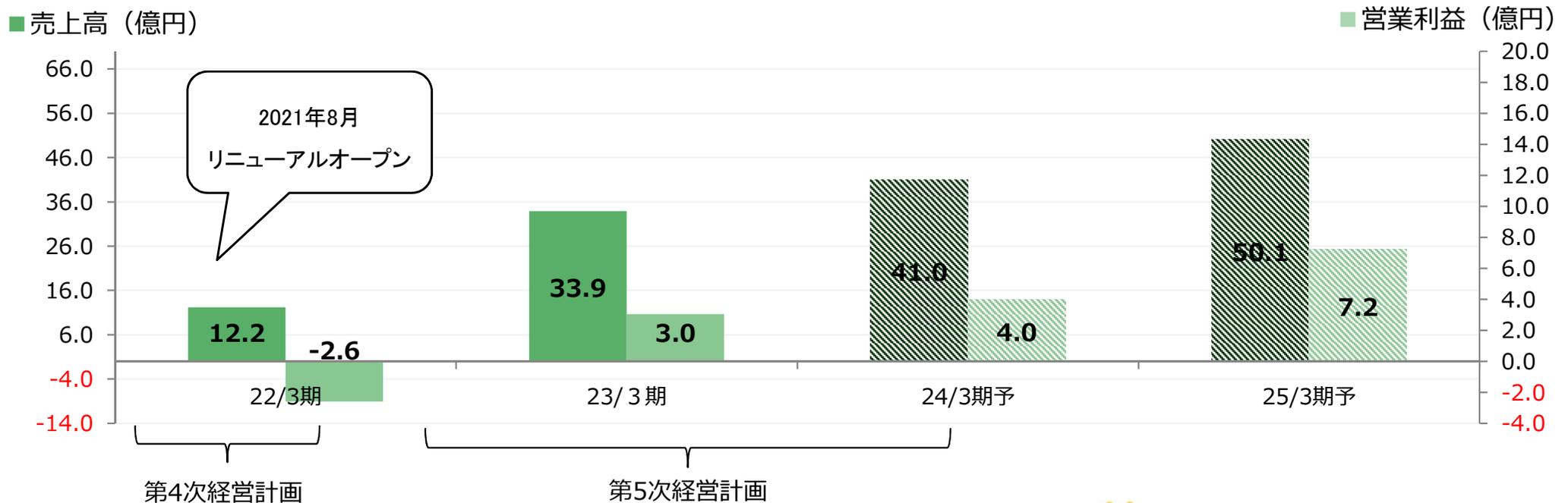
おせち32万台出荷(23/3期実績)

2-2. 注力セグメントの紹介

BELLUNA

②プロパティ事業（定山溪ビューホテル）

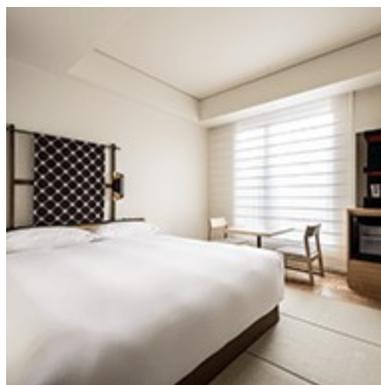
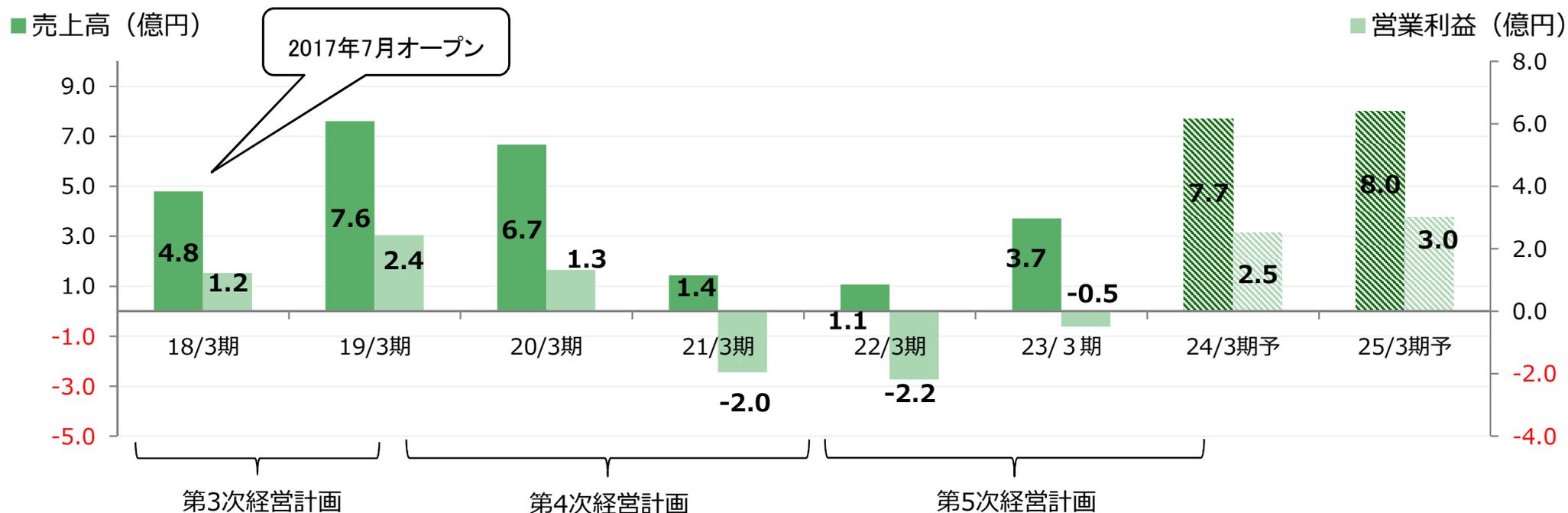
2021年5月に取得し、同年8月にリニューアルオープンした道内最大級（647室）のスパ・リゾートホテル。2023年8月には過去最高の売上を達成。



2-2. 注力セグメントの紹介

③プロパティ事業（京都グランベルホテル）

2017年7月京都の中で最も京文化を感じる祇園にオープン。「祇園の継承×日本クリエイティブ」がコンセプトの現代と伝統を融合させたデザインのホテル。



2-2. アパレル・雑貨事業

BELLUNA

今期の取組みの一部

- ・メンズの更なる強化（ゴルフウェア、インナー等のカテゴリ拡充）
- ・中～高価格帯商品の投入
- ・レスポンス改善の施策としてのビジュアルの刷新



裏ペロアのお洒落なダブル衿トレーナー
¥5,489（税込）



【リンネルコラボ】起毛綿シャツワンピース
¥4,990（税込）



ベルーナ23秋冬号

2-2. アパレル・雑貨事業

今期の取組みの一部

BELLUNA

2023 VOL.165 **BELLUNA** 冬号

1冊の注文金額が
¥10,000以上で
(税込¥11,000)
送料無料!
※送料は
ショッピングサイトを
CHECK!

ご注文専用ダイヤル(通話料別) ☎ **0120-888-111**

【受付時間】
午前9:00～午後9:00

※このカタログでの商品の在庫
は毎月更新からとなります。

【今号の特典】
お洒落がしたい!
私らしくて今っぽい
優しい素敵服

気分を上げたいそんな時は、好きな服を着てお出かけ。
毎日を「ちょっと素敵」にしてくれる冬のお洒落アイテムをご紹介します。

ご注文は、簡単・便利なパソコン・スマートフォンから!
<https://belluna.jp/>

ご注文専用ダイヤル(通話料別) ☎ **0120-888-111**

【受付時間】
午前9:00～午後9:00

カタログ番号

カタログ掲載期間 2024.2.20日

ベルナ 年を重ねた今が好き、これからの私ほもっと好き。 2023.vol.150 冬号

ルブラン

冬を彩る洗練の装い。

トレンドを取り入れて華やかに

冬の特別版
毎日が楽しくなる
トレンドアイテム満載
“Winter Special”

冬のお洒落アイテム
お洒落がしたい!
私らしくて今っぽい
優しい素敵服

気分を上げたいそんな時は、好きな服を着てお出かけ。
毎日を「ちょっと素敵」にしてくれる冬のお洒落アイテムをご紹介します。

ご注文専用ダイヤル(通話料別) ☎ **0120-888-111**

【受付時間】
午前9:00～午後9:00

カタログ番号



信託の日本製

暖かざのヒミツ
裏起毛

ぐーんと伸びて
ラクしてキレイ

寒い冬でも!
暖かー冬美脚ハイツ

26.5万本突破!!

36サイズ S7L
58
62
66
70

3本組 9,990円 (税込10,989円~)

冬美3本組(S~LL)
毎月 税込 2,131円×6回
お支払合計 税込 12,786円
一括払い 税込 11,800円(税込12,990円)

冬美3本組(LL~7L)
毎月 税込 2,541円×6回
お支払合計 税込 15,246円
一括払い 税込 14,300円(税込15,490円)

お支払 1 40531 40533 40534 40535

商品番号

サイズ番号

※送料は別途お見積り

2-2. 化粧品健康食品事業

BELLUNA

今期の取組みの一部

世界累計販売数1,300万個の「ローヤルゼリーもっちりジェル」



若年層向けブランド「Bab²(バブバブ)」



- ・2008年より販売するオールインワンジェル「ローヤルゼリーもっちりジェル」が世界累計販売数1,300万個突破。
- ・越境ECの（香港・シンガポール・中国）拡大。台湾に続く新たな海外展開の柱を構築する。
- ・「Bab²(バブバブ)」がLDK the Beautyで第1位&ベストバイの2冠達成。

2-2. グルメ事業（ワイン、日本酒を含む）

BELLUNA

今期の取組みの一部

ワイン通販
15年連続売上No.1



セット販売No.1商品
世界選りすぐり赤ワイン12本セット

ワイン販売本数実績

年度	販売本数
2020/3期	680万本
2021/3期	1,100万本
2022/3期	1,120万本
2023/3期	1,150万本

日本酒通販
7年連続売上No.1



日本酒No.1商品
越乃五蔵大吟醸

日本酒販売本数実績

年度	販売本数
2020/3期	120万本
2021/3期	200万本
2022/3期	280万本
2023/3期	300万本

おせち
出荷台数32万台



おせちNo.1商品
結 和三段重

おせち販売台数実績

年度	販売台数
20/3期	16万台
21/3期	19万台
22/3期	28万台
23/3期	32万台

- ・グルメ事業は、冷凍惣菜を中心とした単品系が継続拡張を見込む。
- ・システム刷新によるサービスレベル向上により、顧客のファン化を図る。

2-2. グルメ事業（ワイン、日本酒を含む）

BELLUNA

今期の取組みの一部



ÉLÉVIN

The Rothschild Family
ロートシルトファミリー
世界のプレミアムワイン
5本セット

— New Arrival 新着ワイン —

		
マッセード14 (IGTトスカ...)	コルトン・シャル ルマーニュ・グ...	ニュイ・サン・ ジョルジュ・エ...
99,000円	17,380円	27,500円



高級ワイン専用サイト

「ELEVIN（エレヴァン）」の展開を開始。

ワイン通販事業20年以上の実績と経験を基に、プ
リムールや希少なワインを提供。

計画通りの成長を続けており、今後の拡張に期待。

2-2. ナース関連事業

BELLUNA

看護師向け通販国内売上高No.1

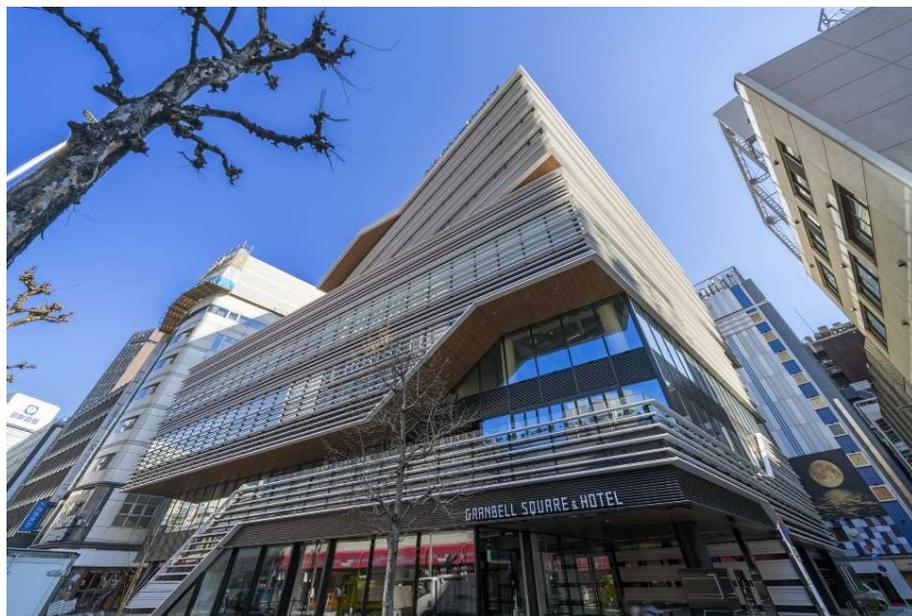
※2022年度/東京商工リサーチ調べ



2-2. プロパティ事業 (ホテル)

BELLUNA

銀座 GRANBELL SQUARE開業



2-2. プロパティ事業 (ホテル)

BELLUNA

洞爺サンパレス リゾート&スパ、ザ・レイクスイート湖の栖 運営開始



2-2. プロパティ事業 (ホテル)

BELLUNA

ニュー阿寒ホテル 運営開始



2-2. プロパティ事業 (ホテル)

BELLUNA

2026年3月期開業予定 SAPPORO HOTEL by GRANBELL



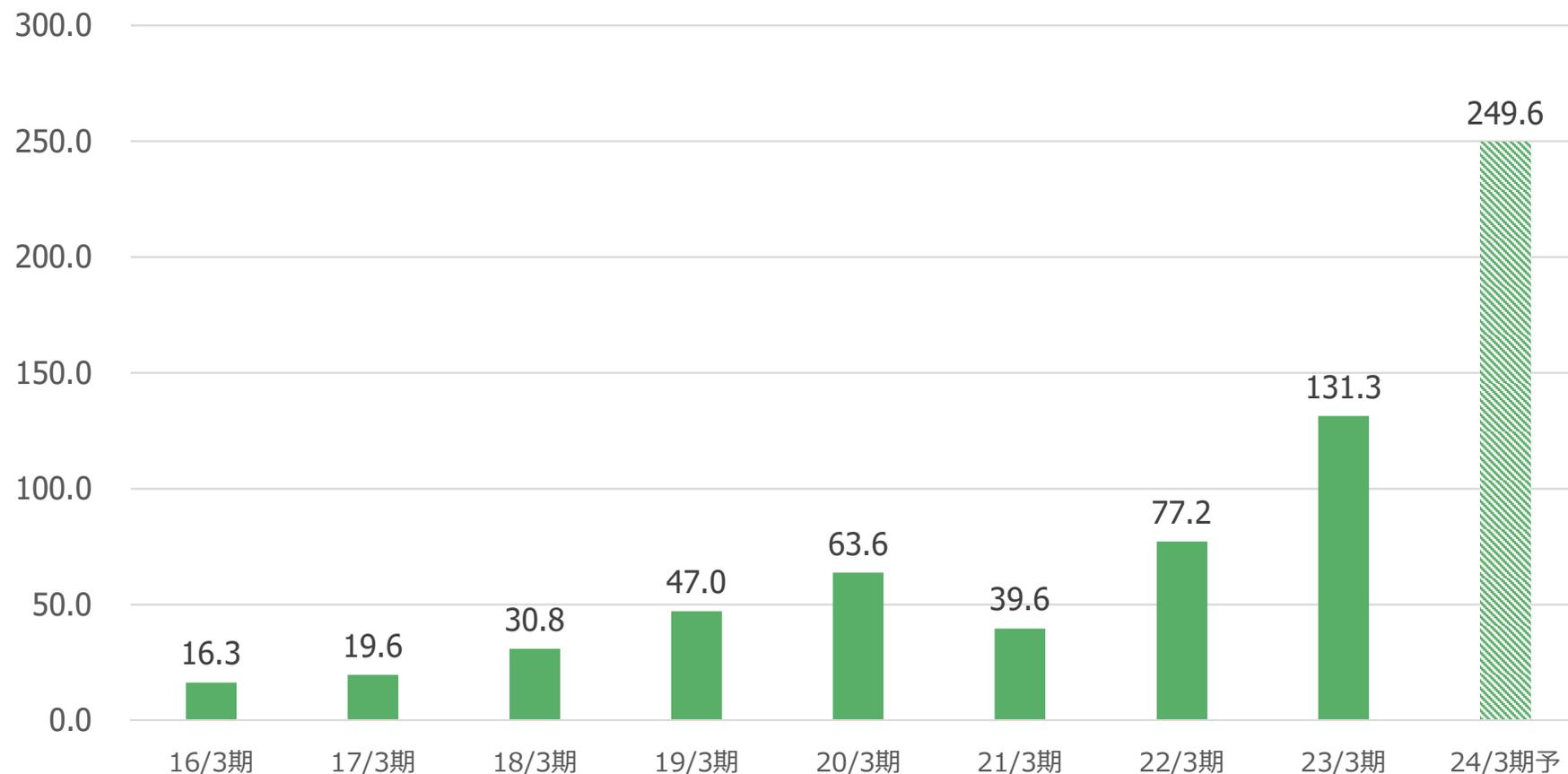
2-2. プロパティ事業（ホテル）

BELLUNA

今期は宿泊需要の回復、新規開業及びM&Aで取得したホテルの貢献もあり、更なるパワーアップを見込む。

<売上推移>

単位：億円



稼働ホテル

2

3

4

7

8

8

13

14

18

2-2. プロパティ事業（ホテル）

ホテル稼働実績と開業予定について

BELLUNA

<開業実績・予定>

Ref	地域	施設名	部屋数	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	想定 売上 [※] (億円)	稼働時期	形態	
1	沖縄	ホテル浜比嘉島リゾート	29	→											2	2013年5月	保有	
2	福島	裏磐梯レイクリゾート	324		→											25	2015年10月	賃貸
3	長野	ルグラン旧軽井沢ホテル	43			→										5	2016年7月	保有
4	京都	京都グランベルホテル	105				→									6	2017年7月	賃貸
5	長野	ルグラン軽井沢ホテル&リゾート	58					→							28	2018年7月	賃貸	
6	スリランカ	ルグランゴールホテル	48						→						5	2018年7月	保有	
7	モルディブ	ウェスティンモルディブ ミリアンドゥホテル	70						→					35	2018年10月	保有		
8	ハワイ	EWAホテル	92						→				6	2019年4月	保有			
9	大阪	梅田ホリックホテル	117								→			5	2021年4月	賃貸		
10	大阪	大阪グランベルホテル	191								→			10	2021年4月	賃貸		
11	北海道	札幌グランベルホテル	218								→			11	2021年4月	保有		
12	北海道	定山溪ビューホテル	647									→		48	2021年8月	保有		
13	北海道	すすきのグランベルホテル	300									→		15	2021年9月	賃貸		
14	スリランカ	グランベルホテルコロンボ	292									→		17	2022年4月	保有		
15	京都	京都グランベルホテル hanareya	13										→		1	2022年11月	賃貸	
16	銀座	GINZA HOTEL by GRANBELL	102										→		8	2023年4月	保有	
17	北海道	洞爺サンパレス、ザ・レイクスイート湖の栖	404										→		40	2023年4月	保有	
18	北海道	ニュー阿寒ホテル	366										→		21	2023年4月	賃貸	
19	北海道	SAPPORO HOTEL by GRANBELL (仮)	605												29	2026年3月期予	保有	
		計	4,024												317			

今期は、売上高249.6億円・営業利益18.5億円以上を目指す。

2-2. プロパティ事業

BELLUNA

・2Q累計実績と24/3期の予算

単位：億円

事業内訳	23/3期 2Q累計		24/3期 2Q累計				24/3期 予算	
	実績		実績				10/30公表予算	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上 前年比	営業利益 前年比	売上	営業利益
インカムゲイン 所有不動産（オフィス、店舗等）	15.4	4.7	22.9	1.4	48.7%	-3.3	42.0	7.7
キャピタルゲイン 不動産の開発、販売事業	6.5	1.3	6.5	-0.2	-0.6%	-1.5	6.5	-0.2
太陽光 太陽光発電を3物件保有	6.2	2.4	6.7	3.0	8.4%	0.6	11.2	3.9
ホテル事業 国内14ホテル、海外4ホテルを運営	60.9	-4.3	120.5	10.6	97.7%	14.9	249.6	18.5
計	83.7	3.7	143.1	17.5	70.8%	13.8	289.6	29.9

・ホテル事業において、宿泊需要が回復し、既存ホテルの稼働率や客室単価が改善。また国内新規稼働ホテルが加わったことにより大幅な増収増益となった。

・キャピタルゲインにおいて、円安影響を考慮し、予定していた海外不動産の売却案件を翌期以降に後ろ倒し。

2-3. 株主還元

24/3期は年間20.5円の配当予定。配当は5年連続増配。

<年間配当>

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期 (予)
EPS (円)	106.39	60.62	114.17	105.55	76.71	72.39
配当 (円)	15.0	16.0	16.5	19.0	20.0	20.5

<株主優待>

[内容]	100株以上	500株以上	1,000株以上
通信販売優待割引券 またはベルーナネットで利用できる優待ポイント またはグルメ・ワイン・日本酒商品	1,000円分	3,000円分	5,000円分
ベルーナグループ運営（提携）施設で利用可能な 券面額1,000円の優待割引券	2枚 (2,000円分)	6枚 (6,000円分)	10枚 (10,000円分)

[対象]

3月末・9月末時点で、当社株式100株以上を保有している株主様（年2回）

株主様ご優待券



2-4. サステナビリティに関する取組み

主要実践項目（マテリアリティ）の達成に向けた取組みを強化。ベルーナグループの価値向上に取り組むとともに、環境負荷の軽減に努め、社会への価値を提供しつづけることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

BELLUNA

① より豊かな衣食住遊を提供し、買い物難民問題の解決に貢献

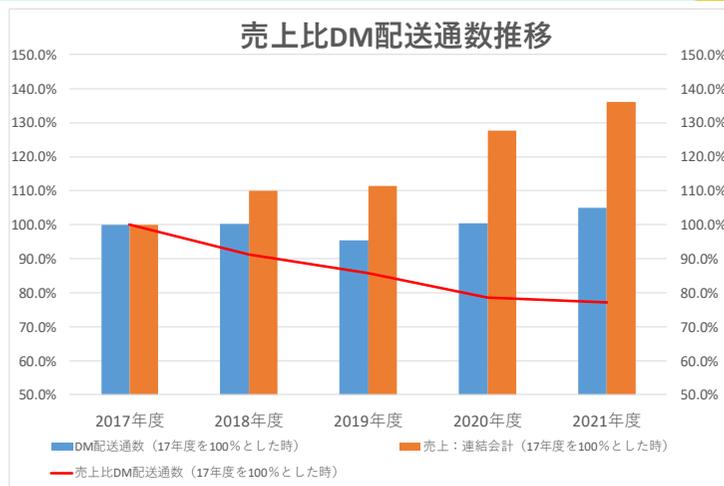


	人口	ベルーナ登録会員	比率
全国	125.0百万人	29.0百万人	23.2%
過疎地域	9.6百万人	2.9百万人	30.8%

② 商品ロスの削減



③ カタログ等の紙使用量の削減



④ 物流センター等のCO2排出量削減



吉見ロジスティクスセンター

2-4. サステナビリティに関する取組み

主要実践項目（マテリアリティ）の達成に向けた取組みを強化。ベルーナグループの **BELLUNA** 価値向上に取り組むとともに、環境負荷の軽減に努め、社会への価値を提供しつづけることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

⑤ 従業員の働き方改善



お母さんの職場見学会

⑥ オリジナル商品のサステナブル化



⑦ グループ全体でのSDGs貢献意識の醸成



3. 参考資料

BELLUNA

社名	株式会社ベルーナ（証券コード：9997）
本社所在地	埼玉県上尾市
代表者	代表取締役社長 安野 清
設立	1977年6月（創業1968年9月）
事業内容	データベースを核とした通信販売総合商社
資本金	106.1億円(23/3末)
連結売上高	2123.8億円(23/3期)
連結経常利益	124.6億円(23/3期)
連結従業員数	3,579名(23/3末)
上場市場	東京証券取引所プライム市場

ベルーナ

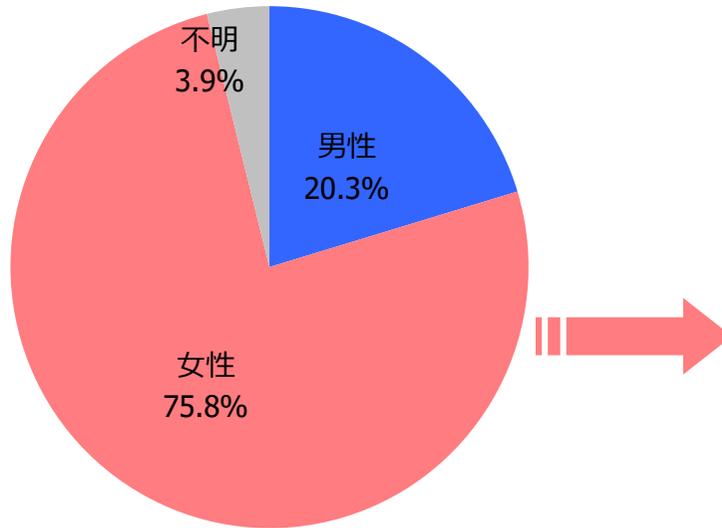


1977年	6月	埼玉県大宮市奈良町37番12号に(株)友華堂を設立
1983年	3月	衣料品の通信販売を開始
1987年	12月	金融サービス事業を開始
1990年	4月	商号を(株)ベルーナに変更
1992年	10月	北海道産地直送生鮮食品の通信販売を開始
1994年	1月	埼玉県上尾市に領家丸山流通システムセンターを新築・稼働
	7月	医薬品及び健康食品の販売を目的に(株)東洋漢方研究所を設立（現・(株)リフレ）
1998年	5月	埼玉県上尾市宮本町4番2号に本社を移転
2000年	3月	東京証券取引所市場第一部に株式を上場
		化粧品事業等の展開を目的に(株)オージオを設立
	8月	栃木県に宇都宮流通システムセンターを新築
2006年	11月	呉服店舗を展開する(株)BANKAN及び(株)わものやを設立
2007年	3月	看護師向け事業の展開を目的に(株)ナースリーの全株式を取得
2013年	8月	看護師向け通販を展開する(株)アンファミエの全株式を取得
2014年	1月	ベビー・ギフト通販を展開する(株)ベストサンクスの全株式を取得
	8月	埼玉県吉見町に吉見ロジスティクスセンターを新築・稼働
2015年	6月	輸入雑貨・食品の通販・卸を展開する丸長(株)の全株式を取得
2016年	5月	衣裳レンタル業を展開する(株)マイムの全株式を取得
	7月	アパレル通販（ネット専業）を展開する(株)ミンの全株式を取得
2018年	1月	EC取り組み強化、事業領域の拡大のため東京都渋谷区に渋谷オフィスを開設
	6月	和装事業を展開するさが美グループホールディングス(株)の株式を取得し、連結子会社化
2019年	9月	インポートブランド品のEC事業を展開する(株)アイシーネットの全株式を取得、連結子会社化
2020年	1月	シンガポールにて医療機関向けに医療人材の紹介・派遣事業を展開する JOBSTUDIO PTE.LTD.の全株式を取得、連結子会社化
2021年	8月	レディースアパレルECを展開する(株)セレクトの全株式を取得し、子会社化（現・連結子会社）
2022年	4月	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、市場第一部からプライム市場へ移行
2022年	8月	DM発送代行事業、国内物流受託事業等を展開する、株式会社レーベル、株式会社レーベル ロジスティクス、株式会社R&Mの全株式を取得し、子会社化（現・連結子会社）
2023年	3月	地熱発電による売電を目的に（同）最上ジオエナジーに出資し、子会社（現・連結子会社）
2023年	8月	清酒・その他醸造酒・副産物の製造販売事業を展開する、谷櫻酒造有限会社の全株式を取得

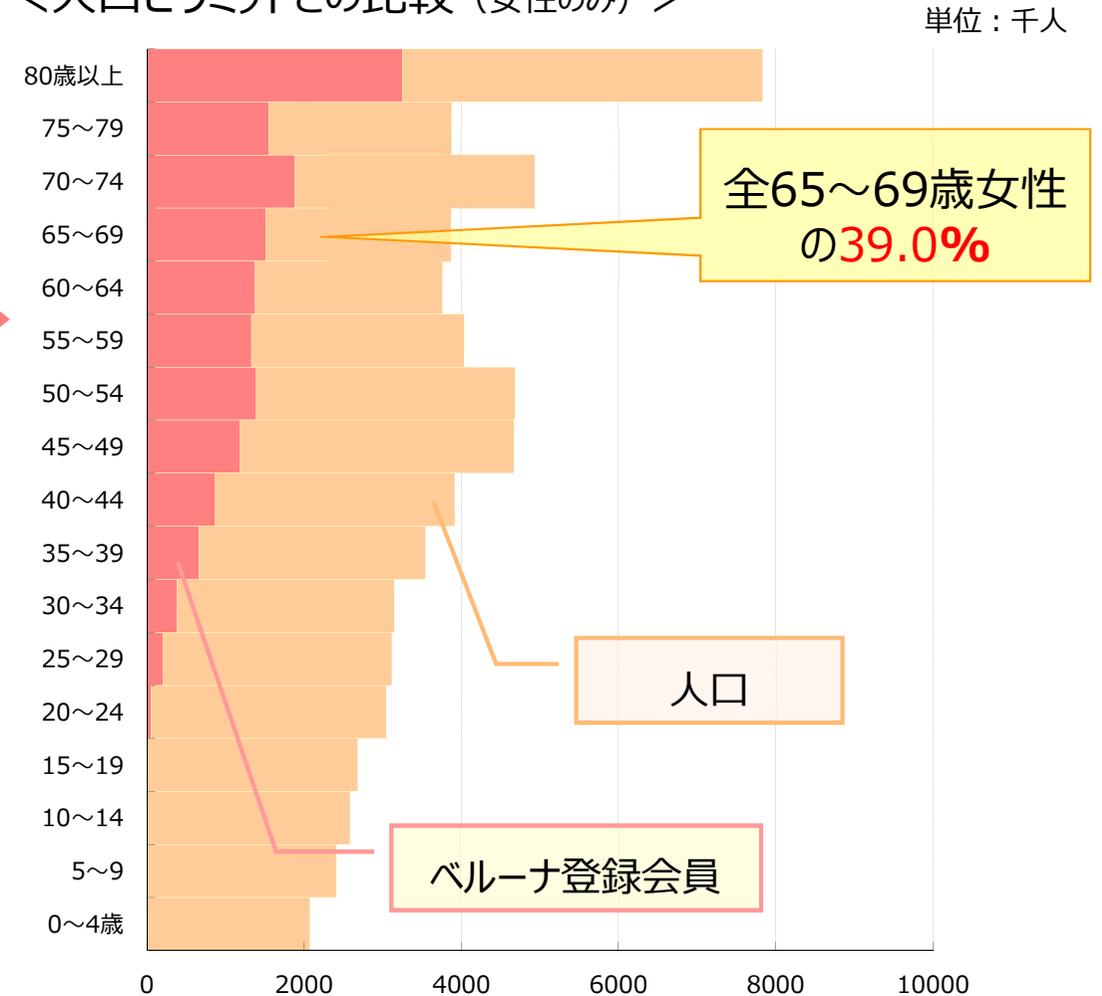
【アパレル・雑貨通販】登録会員の特徴

登録会員の特徴（2023年3月末時点）

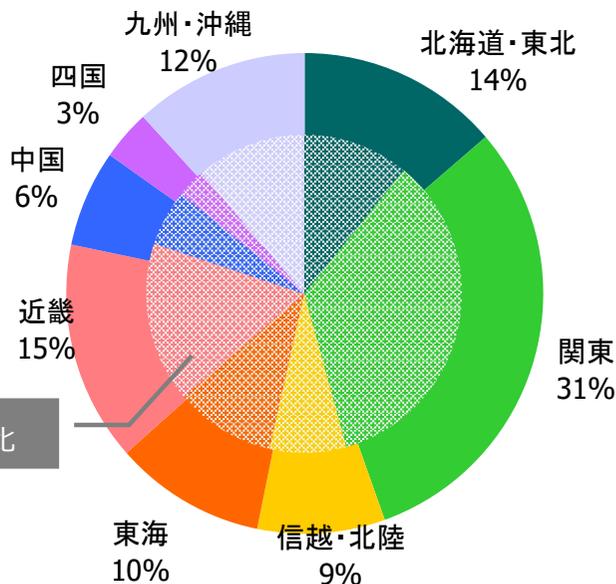
<性別>



<人口ピラミッドとの比較（女性のみ）>



<地域>

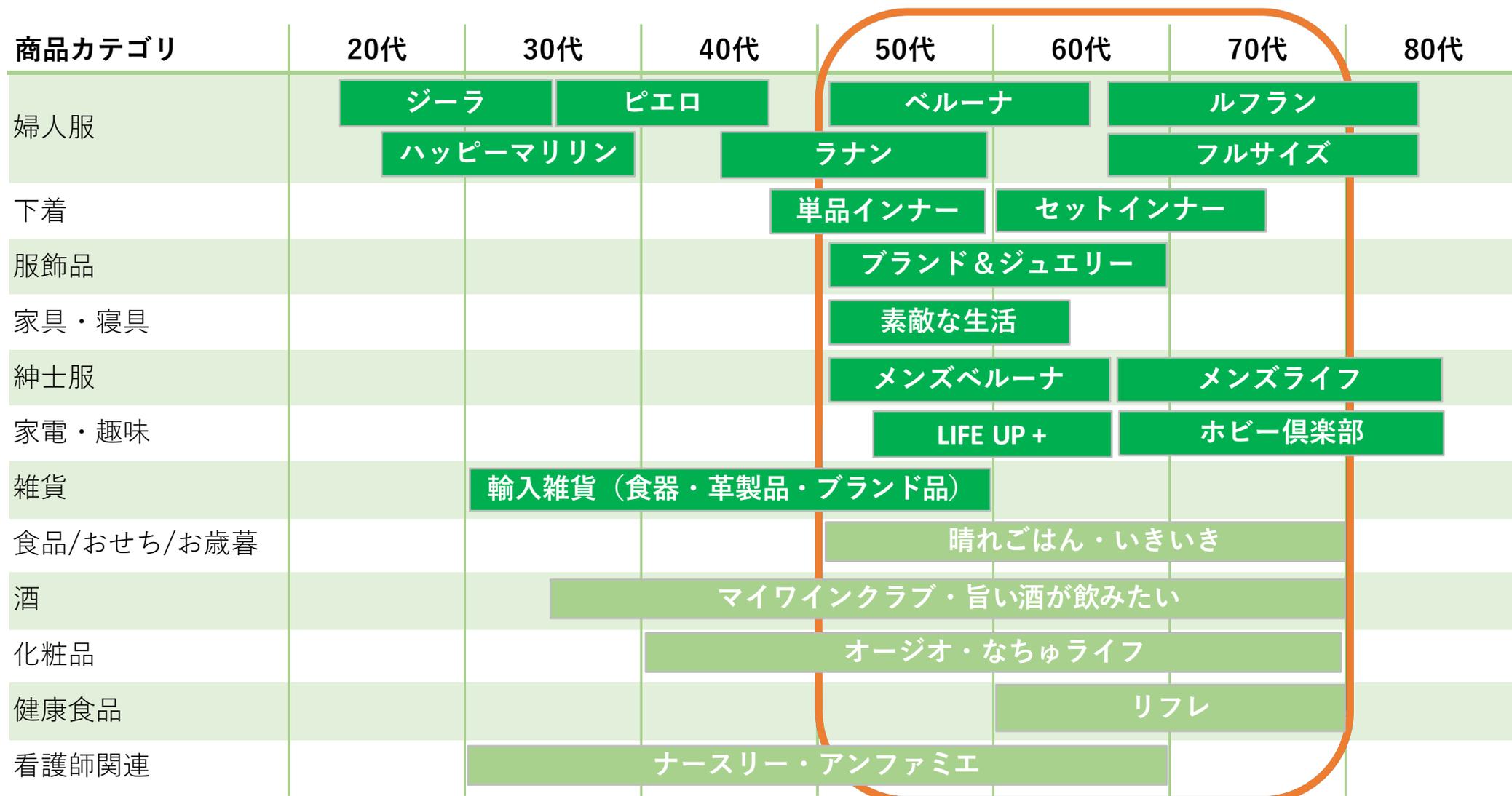


地域別の人口構成比

※総務省統計局データを元にベルーナにて作成

【通販】カタログラインアップ※

BELLUNA



※年代については各ブランドごとに設定しているメインターゲット年齢を表現

■ アパレル・雑貨事業

■ その他の通販事業

<本資料に関する注意事項>

本資料は、2024年3月期第2四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2023年11月17日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp